

このたびは、MY40 デジタル絶縁抵抗計をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本器の全機能を十分に活用していただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

この取扱説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管してください。

All Rights Reserved, Copyright © 1996, Yokogawa M&C Corporation

YOKOGAWA ◆
横河 M&C 株式会社

IM MY40
2004. 1 5版

安全にご使用いただくために

本器を正しく安全に使用していただくため、本器の操作にあたってはこの取扱説明書のなかに記載されている注意、警告の内容を必ずお守りください。本書で指定していない方法で使用する、本器の保護機能が損なわれることがあります。なお、これらの注意に反したご使用により生じた障害については、当社は責任と保証を負いかねます。

警告 感電事故など、取り扱い者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがある場合にその危険を避けるための注意事項が記されています。

注意 感電事故など、取り扱い者が障害を負ったり機器を損傷する恐れがある場合にその危険を避けるための注意事項が記されています。

Note 製品を取り扱う上で重要な情報、および操作や機能を知る上で注意すべきことがらが記されています。

本器には、安全に使用していただくために次のようなシンボルマークを使用しています。

警告 “取り扱い注意”を示しています。
人体および機器を保護するために、取扱説明書を参照する必要がある場所に付いています。

注意 高圧危険を示しています。(1000V以上の電圧が出力される場合)
絶対に手を触れないでください。

交流電圧を示しています。

二重絶縁または、強化絶縁で保護された機器を示します。

警告

■感電事故など、取り扱い者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがあるため、次の注意事項をお守りください。

1. 絶縁抵抗測定
絶縁抵抗測定中は、プローブに高電圧が発生します。
被測定物、アースおよびライン端子間に手を触れないでください。
2. 絶縁抵抗測定直後
プローブや被測定物が高電圧で帯電している場合があります。
測定直後は手を触れないでください。
3. 交流電圧測定
・交流電圧測定中は絶対にMEASキーを押さないでください。
・交流電圧の測定範囲の上限を超える電圧を加えないでください。
4. プローブ
・当社が供給した本器用のものを使用してください。
・劣化したり損傷したプローブは使用しないでください。
・プローブの着脱はプローブを被測定物からはずして行ってください。
5. ケースの絶縁
本器を落としたり、ぶつけたりしてケースにひび割れがある場合、安全のための絶縁が破壊されていることがあります。
そのまま使用せず修理をお申し付けください。
6. 被測定物
・絶縁抵抗測定時には、被測定物の電源を切ってください。
・活電部周辺で本器を使用するときは、電圧印加部に触れないようにしてください。安全のためにゴム手袋の使用をお勧めします。
7. 使用環境
・可燃性、爆発性のガスまたは霧気のある場所では、本器を動作させないでください。
・結露した状態で使用しないでください。
8. 分解
当社のサービスマン以外は、本器を分解しないでください。

測定分類について

測定分類	測定分類表示	説 明	備 考
I	CAT. I	主電源に直接接続しない回路上で実施する測定のためのものです。	
II	CAT. II	低電圧設備に直接接続された回路上で実施する測定のためのものです。	家電機器、携帯工具など
III	CAT. III	建造物設備内で実施する測定のためのものです。	配電盤、回路遮断器など
IV	CAT. IV	低電圧設備への供給源で実施する測定のためのものです。	架空線、ケーブル系統など



計測機器営業部

〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

電話：0422-52-5984 ファクシミリ：0422-55-8953

関西支店

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101 大同生命江坂ビル10階

電話：06-6368-7041 ファクシミリ：06-6368-7045

中部支店

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-27-2 日本生命笹島ビル12階

電話：052-581-7490 ファクシミリ：052-581-7664

広島営業所

〒730-0037 広島市中区中町8-12 広島グリーンビル8階

電話：082-240-7676 ファクシミリ：082-541-4567

九州営業所

〒812-0037 福岡市博多区御供所町3-21 大博通りビジネスセンター7階

電話：092-262-5740 ファクシミリ：092-262-5741

本社

〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

電話：0422-52-5679 ファクシミリ：0422-51-8455

横河エンジニアリングサービス株式会社

本社	042-534-1101	〒190-8586	東京都立川市栄町6-1-3
東京支店	044-266-0106	〒210-0804	川崎市川崎区藤崎4-19-9
北日本支店	022-743-5751	〒982-0032	仙台市太白区霞沢1-9-7
東部支店	048-620-1414	〒331-0052	埼玉県さいたま市三橋6-654-1
関西支店	0722-24-2221	〒590-0950	大阪府堺市甲斐町西3-4-15
中部支店	052-774-6261	〒465-0025	名古屋市名東区上社1-408
西日本支店	093-551-0443	〒802-0003	北九州市小倉北区米町2-2-1(新小倉ビル6F)

KIM2-2003.4

保証について

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障あるいは輸送中の事故等による故障の節は、お買い上げいただいた販売店または当社販売員にお申しつけください。

なお、当社製品の保証期間はご納入日より1年です。この間に発生した故障で、原因が明らかに当社の責任と判定された場合には無償で修理いたします。

保証書

※ご使用者名		段
形名	MY40	※ No.
保証期間	※ご納入日 年 月 日より1年間	

お願い

本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所ご記入のうえ、本計器の最終御使用者のお手許に保管してください。
○保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は下記に記載の保証規定により無償で修理いたします。
○本保証書は日本国内でのみ有効です。また保証書の再発行はいたしません。

保証規定

保証期間中に生じた故障は無償で修理いたします。
但し、下記事項に該当する場合は無償修理の対象から除外いたします。

記

- (1) 不適当な取扱いまたは使用による故障。
- (2) 設計仕様条件をこえた取扱いや使用または保管による故障。
- (3) 電池等の消耗品および自然消耗品の補充。
- (4) 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障。
- (5) 火災・水害・地震その他の天災を始め故障の原因が本器以外の理由による故障。
- (6) その他当社の責任とみなされない故障。

以上



横河M&C株式会社

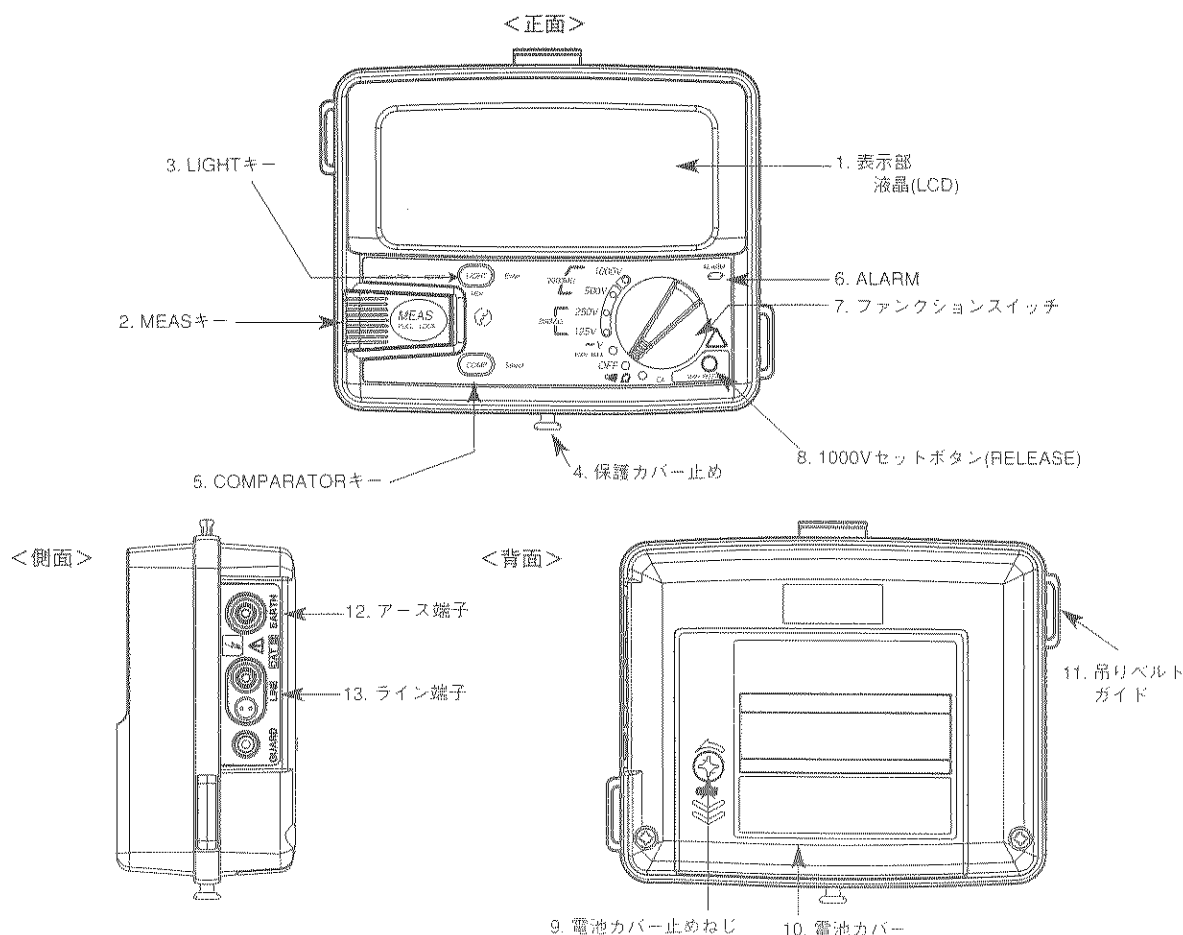
計測機器営業部

〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

☎(0422)52-5984

取扱代理店

各部の名称



各部の説明

- 表示部 液晶(LCD) 測定値および各機能のマークを表示します。
(表示機能を参照してください。)
- MEAS キー 絶縁抵抗測定の場合のみ使用します。
- LIGHT キー (MEM キー) (Enter キー) バックライトの ON/OFF を行うためのキーです。
メモリ機能の設定にも使用します。
コンパレータ機能およびメモリ機能で決定をする場合も使用します。
- 保護カバー止め
- コンパレータキー (Select キー) コンパレータを設定するためのキーです。
コンパレータ機能およびメモリ機能で選択する場合も使用します。
- アラーム 活線アラームでは点滅、高圧発生時は点灯して警告します。
- ファンクションスイッチ 測定の定格設定を行うためのスイッチです。
 - 1000V/2000MΩ
 - 500V/2000MΩ
 - 250V/200MΩ
 - 125V/200MΩ
 — 絶縁抵抗測定
 - 交流電圧測定(最大入力電圧600V)
 - 電源OFF
 - 低抵抗測定
 - 導通チェック
 - CLr: メモリクリア
- 1000V セットボタン 1000V に設定する場合このボタンを押しながらファンクションスイッチを 1000V にします。
- 電池カバー止めねじ 電池を交換するときに使用します。
- 電池カバー
- 吊りベルトガイド 吊りベルトを通してください。
- アース端子 アースプローブを接続するための端子です。
- ライン端子 ラインプローブを接続するための端子です。

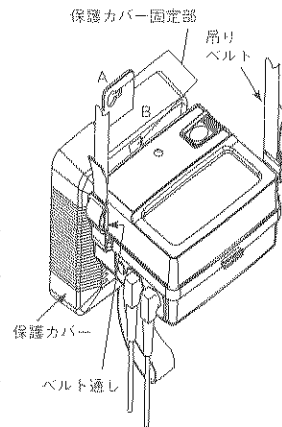
Note

- ・本器には、GUARD機能は標準装備されていません。

保護カバーと吊りベルトの使い方

本器には付属品として保護カバーと吊りベルトが付いています。

- ・保護カバーは上カバー(表示部分のカバー)と底のカバー両方の使い方ができます。
(工場出荷時は上カバーになっています。)
- ・吊りベルトを利用して胸部付近で表示を見ることができます。
ベルト通しを使用してベルトを首にかけ、見やすい位置まで調整してください。
- ・保護カバーを外して、カバー表面の穴(B)を使用して本体に取り付けることができます。
スケールが体に近くて見にくい場合に使用すると便利です。(右図参照)
- ・保護カバーに付いているマジックテープ付きベルトはプローブをまとめて保管するときに使用してください。
(プローブは端子からはずしてください。)



測定を始める前に

- 安全の確認
 - ・本書の取り扱いについての注意事項をよくお読みください。
 - ・安全を確認して測定を始めてください。
- 電池電圧の確認
 - ・電池電圧が有効範囲内(マークが点滅していないこと)であることを確認してください。
 - ・電池が消耗している場合は電池交換方法を参照の上交換してください。

Note

電池の消耗を示す マークの表示は、負荷(消費電流の値)により異なります。
最も負荷の大きいアースプローブとラインプローブのショート(0 MΩ)で マークが表示されないことの確認をおすすめいたします。

3. プローブの取付け

- ・アースプローブを本器のアース端子に取り付けてください。
- ・ラインプローブを本器のライン端子に取り付けてください。

警告

- ・プローブの着脱はプローブを被測定物からはずして行ってください。
- ・プローブの着脱時はMEASキーがOFFであることを確認してください。

4. ファンクションスイッチの確認

測定の前には、ファンクションスイッチの位置が測定目的に適した定格であることを必ず確認してください。

5. 1000V 定格の確認

1000V 定格で測定を行う場合は、1000V セット機能を参照してください。

電池の取扱いと交換

警告

- ・電池交換(取りはずし)の際はプローブを取りはずし、MEASキーをOFFにしてから行ってください。
- ・作業中はMEASキーに触れないでください。
高圧が発生する場合があります。

止めねじをゆるめ、カバーをスライドさせながらさらに止めねじをゆるめて、カバーをはずします。

4本の電池すべてを新しいものに交換してください。
電池取付けの方向(極性)はケースの表示に従って正しく行ってください。

交換後は電池カバーを元にもどし、ねじをしめてください。

注意

- ・違う種類の電池を混ぜたり、新しい電池と古い電池を混ぜたりして使用しないでください。
- ・本器を長時間使用しない場合は、必ず電池をはずして保管してください。
このような条件では電池が液漏れしやすくなり、故障の原因になります。

電池使用時間 (参考データ)

MY40 定格 500V/2000M
中央表示値(約 50M) においての連続使用時間は
約 15 時間です。(付属電池使用の場合)

Note

上記データは代表的な値です。使用条件などにより異なりますので使用前は必ず電池電圧の確認を行ってください。

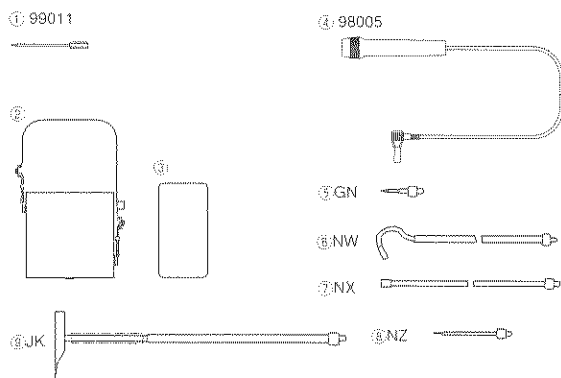
アクセサリ

■ 付属品

品名	形名	単位
保護カバー	93013	1個
吊りベルト	99005	1本
ラインプローブ	98001	1本
アースプローブ	98002	1本
乾電池	—	4本
取扱説明書	IM MY40	1部

■ アクセサリ (別売)

品名	形名	説明
1. プローブ換え先 ブレーカビン用 (105mm)	99011	付属ラインプローブ用換え先
2. 携帯用ケース	93015	本体+プローブ1組収納
3. アクセサリ収納ケース	B9108XA	ソフトケース サイズ: 約100(W)×190(H)×40(D)mm
4. 特殊ラインプローブ ＜プローブ換え先＞	98005	ケーブル長1000mm
5. 汎用 (58mm)	B9600GN	特殊ラインプローブ用換え先
6. フック形 (360mm)	B9600NW	
7. 延長用 (360mm)	B9600NX	
8. 先細形 (108mm)	B9600NZ	
9. ピッケル形 (338mm)	B9635JK	



保守

■ 保管条件

- ・ 温湿度: -10 ~ 60℃, 70%RH 以下
- ・ 保管する場合は電池をはずしてください。
- ・ 本器を保管する場合には、次のような場所を避けてください。
 - ・ 湿気の多い場所
 - ・ 直射日光のあたる場所
 - ・ 高温熱源の近く
 - ・ 機械的振動の多い場所
 - ・ ちり／ごみの多い場所
 - ・ 腐食性ガスのある場所

■ クリーニング

揮発性溶剤 (シンナー、ベンジンなど) を使用すると、変色などの原因になります。
水またはアルコールを柔らかい布にしみこませて拭き取ってください。

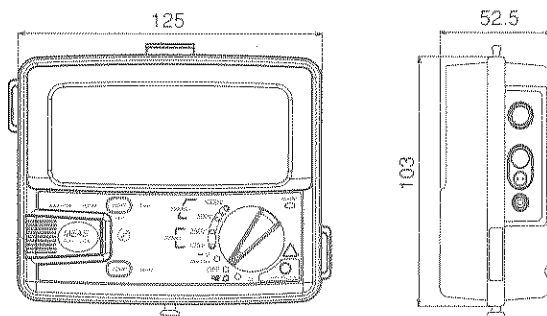
■ 推奨校正周期

1年: 本器を正しくご使用いただくためにも、定期的に校正することをおすすめします。

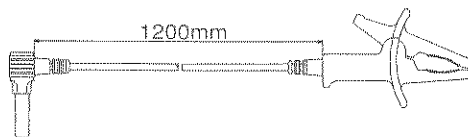
外形図

単位: mm

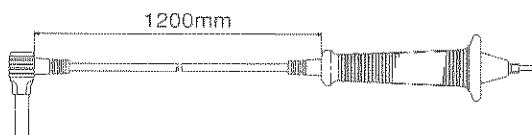
< 本体 >



< アースプローブ >



< ラインプローブ >



不具合発生時の対応について

ここでは、本器に不具合が発生したときの対応について説明します。
下記の確認事項どおりに対処しても正常に動作しないときやその他の不具合が認められるときは、表面記載の横河エンジニアリングサービス株式会社までご連絡をください。

< 症状 >

- ・ ファンクションスイッチをONにしても何も表示しない。
- ・ 表示が薄くなる。
- ・ 測定(表示)値がおかしい。

< 確認事項 >

- ・ 電池が消耗していないか正しく装着されているか確認してください。
- ・ 測定リードに異常がないか正しく接続されているか確認してください。
- ・ 電源を一度OFFにして再度操作を行っても同じ症状が発生するか確認してください。

エラーメッセージの説明

- Err.0 内部動作の異常です。
電源を一度OFFにして再度操作を行ってください。
* 同じ症状が何度も発生する場合は修理が必要です。
- Err.1 コンバータの設定値およびメモリ機能のデータ保存ができません。
コンバータおよびメモリ機能以外の測定は正常に動作します。
エラー表示(Err.1)のない他の設定値および保存データは使用できます。
* 同じ症状が何度も発生する場合は修理が必要です。
- Err.2 内部動作の異常です。
電源を一度OFFにして再度操作を行ってください。
* 同じ症状が何度も発生する場合は修理が必要です。

■ 取扱説明書に関する注意

- ・ 本書に記載した事項は予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書は内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。
- ・ 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

測定機能と付属機能

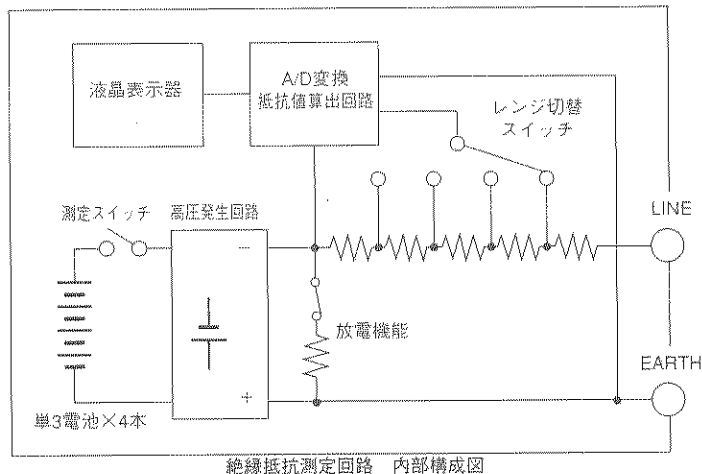
■ 測定機能

- ・ 絶縁抵抗測定(4定格)
125V/200M
250V/200M
500V/2000M
1000V/2000M
- ・ 交流電圧測定(45Hz～400Hzの正弦波)
- ・ 低抵抗測定(0～400.0)
導通チェック(40 以下でブザー)

■ 付属機能

- ・ メモリ(データ保存) 絶縁抵抗の測定値を各定格で最大20データを内部メモリに保存することができます。
- ・ 活線アラーム 入力端子間に約40V以上の交流電圧が印加されている場合ALARMのLEDが点滅して、ブザーを鳴らします。(交流電圧測定を除きます。)
- ・ コンパレータ 基準抵抗値を設定して測定値が基準値以下の場合LOWマークを表示して、ブザーを鳴らします。
- ・ ホールド 絶縁抵抗の測定値を約5秒間自動的にHOLDします。
- ・ 高圧発生表示 端子間に直流電圧がある場合、“HV”マークとALARMのLEDが点灯します。
- ・ 放電機能 MEASキーをOFFにすると放電を始めます。
放電状態をバーグラフで表示し、“HV”マークとALARMのLEDが点灯します(放電完了で消灯)。
- ・ オートパワーオフ キー操作が10分以上ないと自動的に電源がOFFになります。
- ・ LCDバックライト LIGHTキーによりバックライトのON/OFFが可能です。
- ・ MEASキーのロック MEASキーを引きおこすと連続測定を行うことができます。
- ・ 最高電圧セット機能 誤って最高電圧(1000V)で測定(高電圧の発生)して被測定回路を破壊することのないように1000Vセット機能があります。

測定原理の概要



オーバー表示

■ OL表示

下記の値を超えた場合に表示されます。
絶縁抵抗測定
1000V, 500V 定格の場合：2000M
250V, 125V 定格の場合：200M
低抵抗測定：400

■ ∞表示

内部演算の値が下記の値を超えた場合に表示されます。
絶縁抵抗測定
1000V, 500V 定格の場合：約4000M
250V, 125V 定格の場合：約400M

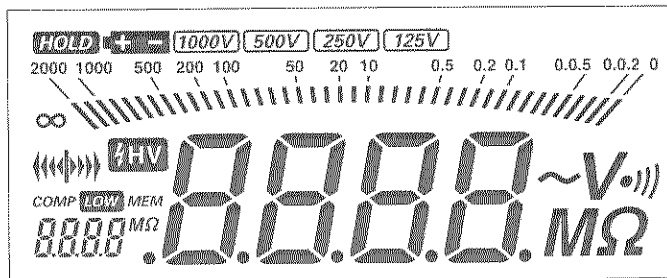
■ レンジアップとレンジダウン

- ・ レンジアップ：4000を超える表示になった場合、レンジアップを行います。
- ・ レンジダウン：360未満になった場合、レンジダウンを行います。

■ 分解能可変表示

小数点以下の表示が安定しない場合、少数点以下の表示を消して分解能を自動的に制限します。

表示機能



HOLD 絶縁抵抗の測定値がホールドされている場合に点灯します。

+ - 電池電圧が低下した場合に点滅します。

1000V 1000V/2000M に設定している場合に点灯します。

500V 500V/2000M に設定している場合に点灯します。

250V 250V/200M に設定している場合に点灯します。

125V 125V/200M に設定している場合に点灯します。

OL オーバーレンジを示しています。



拡大バーグラフ

測定値の変化(傾向)を下記のように表示します。



マークの数は変化の大きさを表示します。



小さい方向への変化



大きい方向への変化



安定状態



- ・ 絶縁抵抗測定でMEASキーが押されている場合に点灯します。
- ・ 放電状態などで電圧が残っている場合に点灯します。



コンパレータ機能を設定している場合に点灯します。



コンパレータの設定値より測定値が低い場合に点灯します。



メモリ機能を使用している場合に点灯します。



交流電圧測定時の単位を示しています。



絶縁抵抗値の単位を示しています。



低抵抗測定の単位を示しています。



導通マーク

抵抗測定で測定値が40 未満の場合に点灯します。

<サブ表示>



- ・ コンパレータの設定値または保存番号を表示します。
- ・ メモリ機能の保存番号を表示します。



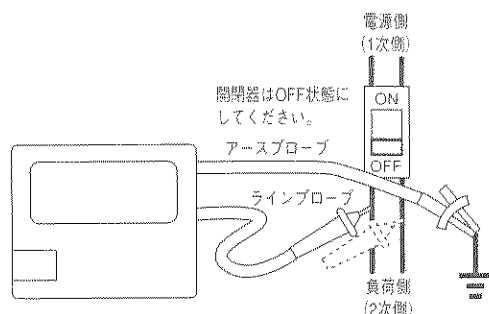
コンパレータの絶縁抵抗の単位を示しています。

絶縁抵抗の測定

1. プローブ接続の前に

⚠ 警告

- ・プローブ接続、絶縁抵抗測定時には被測定物の電源を切ってください。
- ・電気機器に接続されている金属や配線は電圧が印加されている可能性があります。電圧が印加されていないことを確認してから接続してください。
- ・測定の前には、ファンクションスイッチの位置が測定目的に適した定格であることを必ず確認してください。



測定結線図

絶縁抵抗の定格 125V/200M
250V/200M
500V/2000M
1000V/2000M

2. ファンクションスイッチ

ファンクションスイッチを測定の定格にあわせてください。
絶縁抵抗測定の初期表示は“----M”となります。

3. アースプローブの接続

- ・アースプローブを被測定物の接地側に接続してください。
(被測定物が接地されていない場合の接続は任意です。)

4. ラインプローブの接続(接触)

- ・ラインプローブを被測定物に接触させMEASキーを押してください。

被測定物の絶縁抵抗値を表示します。

Note

測定時にはラインプローブのリード線が大地や床、他の物体などに触れないように注意してください。触れると正しい絶縁抵抗値を測定できないことがあります。

5. 測定終了後

⚠ 警告

- ・プローブや被測定物が測定電圧による電荷で帯電している場合があります。
- ・本器は測定終了後、自動的に放電を始める放電機能があります。
放電が完了したことを確認してください。

1000Vセット機能

誤って1000Vで測定して被測定物回路を破壊することのないようにセットボタンがあります。

セットボタンを押しながらファンクションスイッチを1000Vに設定してください。
解除する場合はファンクションスイッチをOFFまたは他の定格にしてください。

活線アラーム機能

被測定物の電源を切って接続、測定を行います。約40V以上の交流電圧がかかっていたり印加されている場合、ALARMのLEDが点滅して、ブザーを鳴らします。
このようなときは、ただちに測定を中止して電源を確認してください。

MEASキーのロック(連続測定)

MEASキーを右側に引き起こすと、キーがONの状態でもロックできます。
長時間連続測定するとき、ご利用ください。
ただし、長時間の連続測定の場合、電池の消耗も早まります。

HOLD機能

絶縁抵抗の測定値を約5秒間自動的にHOLDします。
MEASキーをOFFにするとHOLDされます。

交流電圧の測定

⚠ 警告

- ・交流電圧測定中は絶対にMEASキーを押さないでください。
- ・交流電圧の測定範囲の上限(600V)を超える電圧を加えないでください。
600Vを超える入力があった場合、測定値が全点滅になりブザーが鳴ります。

1. ファンクションスイッチ

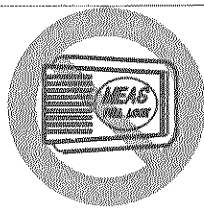
ファンクションスイッチを交流電圧測定(～V)にあわせてください。

2. アースプローブの接続

- ・アースプローブを被測定物の接地側に接続してください。
(被測定物が接地されていない場合の接続は任意です。)

3. ラインプローブの接続(接触)

- ・ラインプローブを被測定物に接触させてください。
被測定物の交流電圧値を表示します。



低抵抗測定(導通チェック)

0～400Ωの抵抗の測定が可能です。
約40Ω以下でブザーが鳴ります。

⚠ 警告

プローブ接続、低抵抗測定時には被測定物の電源を切ってください。

1. ファンクションスイッチ

ファンクションスイッチを低抵抗測定(●//)にあわせてください。

2. アースプローブの接続

- ・アースプローブを被測定物に接続してください。

3. ラインプローブの接続(接触)

- ・ラインプローブを被測定物に接触させてください。
被測定物の抵抗値を表示します。

Note

MEASキーを押す必要はありません。

オートパワーオフ機能

キー操作が約10分以上ないと自動的に電源がOFFになります。
最終キー操作から約9分30秒後にブザーが鳴ります。(1秒間隔)
この状態で測定およびキー操作がない場合電源がOFFになります。
測定中(MEAS ON)やアラーム状態のときは電源OFFになりません。

オートパワーオフの復帰は **ON/OFF** キーまたは **ENTER** キーを押すかファンクションスイッチを一度OFFにして再度操作を行ってください。

LIGHTキーとCOMPキー

コンパレータおよびメモリ機能では COMP キーを設定値、保存番号の選択(Select)キーとして使用します。

コンパレータおよびメモリ機能では LIGHT キーを選択の決定(Enter)キーとして使用します。(点滅表示の確認状態でEnterキーを押すことにより選択が完了します。)

・メモリ機能の設定またはコンパレータの設定を行う場合

LIGHT キーまたは COMP キーを押しながらファンクションスイッチを絶縁抵抗の定格にあわせると、表示の全点灯が終了しブザーが鳴るまでキーを押し続けてください。
または、ファンクションスイッチを絶縁抵抗の定格にあわせて表示が全点灯してからブザーが鳴るまでキーを押し続けてください。

■バックライトについて

- ・コンパレータの設定を行うときは、バックライトは点灯することができません。
- ・メモリ機能を使用しているときは、バックライトが点灯したままになります。

メモリ(データ保存)機能

絶縁抵抗の各定格で最大20データを内部メモリに保存することができます。

●データの表示

- 1) MEM キー(MEM)を押しながらファンクションスイッチを電源OFFの状態から測定定格にあわせします。
"MEM"が表示されサブ表示のno.01(保存番号)が点滅になります。
- 2) 保存番号を選択します。
 SELECT キー(Select)を押して保存番号(no.01 ~ no.20)を選択してください。

選択(表示)した保存番号にデータが保存されている場合は抵抗値を表示します。
選択(表示)した保存番号にデータが保存されていない場合は"----"を表示します。

コンパレータ機能

絶縁抵抗測定で基準抵抗値を設定して測定値が基準値以下の場合LOWマークを表示して、ブザーを鳴らします。
約5秒間測定値を自動的にHOLDします。

●基準値の選択方法

各定格においてあらかじめ設定されている3つの値から選択してください。

デフォルト値 no.01:0.1M / no.02:0.2M / no.03:0.4M

- 1) ファンクションスイッチを測定の定格にあわせします。
- 2) COMP キーを押します。
- 3) **COMP**が表示されサブ表示に基準値が表示されます。
- 4) 基準値を変更する場合は SELECT キー(Select)を押すごとに下記の順番で基準値の表示が変わります。
0.1M
0.2M
0.4M
コンパレータOFF(表示なし)
表示されている値がコンパレータの設定値となります。

●基準値の設定方法

- ・デフォルト値を変更する場合
no.01 ~ no.03の基準値は個別に変更できます。
- 1) 電源OFFの状態から COMP キーを押しながらファンクションスイッチを設定の定格にあわせします。
サブ表示のno.01が点滅になり設定のための表示になります。
no.02、no.03の設定の場合は、 SELECT キー(Select)を押して変更してください。
 - 2) ENTER キー(Enter)で設定するno.を決定します。
メイン表示で基準値の設定を行います。
 - 3) 小数点の位置を SELECT キー(Select)で選択します。
 - 4) ENTER キー(Enter)で決定します。
 - 5) 各桁の数値を順番に選択します。
 SELECT キー(Select)を押すごとに数字が下記の順番で変化します。
0 → 1 → 2...8 → 9 → 0
 - 6) ENTER キー(Enter)で決定します。

●データの保存

- 上記1)、2)の手順で保存番号を選択します。
すでに保存されている番号でも上書きは可能です。
- 3) MEASキーで測定を行います。
 - 4) MEASキーをOFFにすると測定値がHOLDされ点滅します。
点滅中に ENTER キー(Enter)を押すとデータが保存されます。
(約5秒間のHOLD後、次の保存が可能になります。)

Note

HOLDされた値が無効な場合は"----"表示になり保存ができません。
再度測定を行ってから保存してください。

●データの削除

保存したデータの削除(全データ削除)

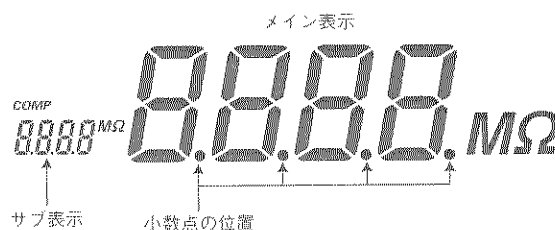
- 1) MEM キー(MEM)を押しながらファンクションスイッチを電源OFFの状態から導通チェック(Clr)にあわせします。
- 2) "MEM"とCLrが表示されます。
- 3) MEM キー(MEM)を押すと、CLrが点滅表示になります。
- 4) 点滅中に再度 MEM キー(MEM)を押すとブザーが鳴り全データが削除され低抵抗測定になります。
(CLrが約2秒表示されます。その間にファンクションスイッチの位置を変更しないでください。)

Note

- ・データ削除の中止
上記手順の3) CLrが点滅表示しているとき、キー操作を行わないで10秒以上経過すると低抵抗測定になります。
または、ファンクションスイッチを他の定格にしてください。

●メモリ機能の解除

ファンクションスイッチをOFFにしてください。



	メイン表示	サブ表示
絶縁抵抗測定時 (コンパレータ使用)	測定値	基準値
コンパレータ設定時	基準値	no.表示

- 7) 次の桁の数値を設定します。
- 8) すべての桁の設定が完了したら基準値が点滅表示になります。
- 9) ENTER キー(Enter)で決定してください。
ブザーが鳴り設定が解除され絶縁抵抗測定になります。

他の基準値も変更する場合は、上記の1)から9)の手順で繰り返し設定してください。

Note

- ・設定値のキャンセル
上記手順の8)基準値が点滅しているとき、 SELECT キー(Select)を押すと手順1)no.01の点滅にもどります。
途中で中止する場合は、ファンクションスイッチをOFFにしてください。
- ・他の定格の基準値を設定する場合
上記手順の8)基準値が点滅しているとき、ファンクションスイッチを目的の定格(絶縁抵抗)にあわせると設定ができます。

仕様（JIS C1302-2002 適合）

定 格	125V/200 MΩ	250V/200 MΩ	500V/2000 MΩ	1000V/2000 MΩ
中央表示値 (MΩ)	5	5	50	50
第1有効測定範囲 (MΩ)	.0200～10.00	.0500～20.00	1.000～500	2.000～1000
第2有効測定範囲（下限）(MΩ)	0～.0199	0～.0499	0～.999	0～1.999
第2有効測定範囲（上限）(MΩ)	10.01～200	20.01～200	501～2000	1001～2000
下限測定抵抗値 (MΩ)	0.125	0.25	0.5	2
定格電流 (mA)	1～1.2	1～1.2	1～1.2	0.5～0.6
交流電圧測定範囲 (V)	0～600			

上記条件での許容差

抵抗測定	：第1有効測定範囲 ±(2% of rdg+6dgt)
	：第2有効測定範囲（下限）±(5% of rdg+6dgt)
	：第2有効測定範囲（上限）±(5% of rdg)
ゼロ表示	：6dgt以内
交流電圧	：±(2% of rdg+6dgt)
低抵抗の測定	：±(2% of rdg+8dgt)
無負荷電圧	：定格電圧の130%以内
短絡電流	：2mA以下

標準試験条件

周囲温湿度	：23±5℃，45～75%RH
姿勢	：水平（水平からの傾斜角は5°以下）
外部磁界	：地球磁界
電池電圧	：電池有効範囲 （  マークが表示されていないこと）

項 目	限 度	試 験 条 件
応答時間	デジタル表示 3秒以内 バーグラフ表示（静止） 約 2 秒	中央およびゼロ表示相当の抵抗を急に接続して、許容差内に達する時間
温度の影響	±(2% of rdg+6dgt)以下	第1有効範囲 最大表示値 中央表示 最小表示値 周囲温度を20℃から±20℃変化させたとき20℃の表示値からの変化
湿度の影響	許容差内	相対湿度90%RHの状態での時間放置したとき
外部磁界の影響	表示値の1.2%以下	第1有効測定範囲の最大表示値、中央表示値および最小表示値において直流400A/mの外部磁界を影響の最も大きい方向に作用させたときの変化
交流分の影響	表示値の10%以内	定格測定電圧と定格測定電流から算出される抵抗を接続した状態で5μF±10%のコンデンサを並列接続したときの変化
耐電圧	異常がないこと（電気回路と外箱間）	50Hzまたは60Hzの正弦波に近い5550VAC1分間加えたとき
振動の影響	構造的に損傷がなく、誤差の変化は固有誤差の100%以下	振動数25Hz、変位振幅1mmの振動を相互に直角な3軸方向に各20分間加えたとき
衝撃の影響	構造的に損傷がなく、誤差の変化は固有誤差の100%以下	1000m/s ² 6ms 正弦半波の衝撃を相互に直角な3軸方向に正逆方向各3回加えたとき
外部印加電圧の影響	異常があってはならない	測定端子間に定格測定電圧の1.3倍の50Hzまたは60Hzの交流電圧を測定スイッチがONの状態での10秒間及びOFFの状態での10秒間印加したとき
測定可能回数	機種 レンジ 測定可能回数 MY40-01 125V/200MΩ 約1,600回 250V/200MΩ 約1,400回 500V/2000MΩ 約1,000回 1000V/2000MΩ 約 700回	試験点：定格測定電圧を維持できる下限測定抵抗 1回の測定時間：5秒間（次の測定の前に約25秒の間隔をおく） バックライト：オフ 使用電池：マンガン電池 周囲温度：20±2℃ 相対湿度：65±20%（JIS C 8501による電池の試験条件）
水、固形物、じんあいの侵入に対する保護	IP40：1mm以上の異物の侵入なし	機器に測定プローブを取付けた状態でJIS C 0920に基づく等級

一般仕様

使用温湿度	：0～40℃，90%RH以下（結露しないこと）
保存温湿度	：-10～60℃，70%RH以下（結露しないこと）
使用電池	：単3乾電池4本（R6（“AA”）形状1.5V）
外形寸法	：約125（W）×103（H）×52.5（D）mm
質量	：約420g（本体、電池4本） 約600g（保護ケース、アースプローブ、ラインプローブを含む）
安全規格	：EN61010-1、EN61010-2-31 絶縁クラス II、汚染度 2 測定カテゴリ III（最大入力電圧600V）

EMC 規格	：EN55011 Group 1 Class B EN61326-1
放射イミュニティの影響	：RF電磁界 3V/m において ・絶縁抵抗測定 第1有効測定範囲 ；±(5% of rdg + 12dgt) 第2有効測定範囲 ；±(10% of rdg + 12dgt) ・交流電圧測定 ；±(5% of rdg + 12dgt) ・低抵抗測定 ；±(10% of range)